

神奈川  
シニア連合

あゆみ

第73号

横浜市中区山下町24-1

ワークピア横浜4F

神奈川シニア連合

発行責任者 池田捷治

# 万全な体制で第27回総会の成功を



第6回五役会・第4回幹事会は、10月22日(月)15時00分〜ワークピア横浜において構成員47名中40名が参加し、神奈川シニア連合第27回総会対策などについて意思統一しました。

会議は、冒頭に杉永常任幹事(JR総連)を議長に選出した後、

永井会長、米塚連合神奈川副事務局長のあいさつを受け、池田事務局長から7月23日に開催した前回会議以降の活動報告、鯉沼役員選考委員長から各産別の役員報告と役員選考委員会を踏まえた次期役員体制の報告が行われ、全会一致で承認・確認されました。

協議事項の総会対策では「新役員は代議員資格で総会に参加すること」が決定され、議案については①安倍

## 食品の検品・仕分け作業を体験

シニア連合ボランティア研究委員会(13名)は、10月25日(木)13時30分から横浜市金沢区富岡東にある「フードバンクかながわ」で研修と検品・仕分け作業の実務体験を行いました。



冒頭、藤田事務局長から①当バンクは、本年3月に設立し『もつたいない・分かち合い・ありがとう』をキーワードに5名で活動。5月から9.5tの食品を38団体に提供している。②日本は、OECD加盟国の中で貧困率が上位である。③日本の食品ロスは646万tあり、廃棄費用は総額2兆円と言われているなどの講義を受けた後、10月9日に連合神奈川から提供された食品を検品し、主食や副食、嗜好品に仕分けし賞味期限ごとに棚に置く作業や、白米を1.5kgに計量して袋詰などを行いました。

フードバンクでは、次年度食品を60t集める計画をしており、賛助会員、検品や車両運転のボランティアを募集中とのことでした。

首相の憲法改正に対する記述。

②消費税導入に連合は反対なのか・容認なのかを確認し補強をとの意見をふまえ、議案を修正・補強し総会に提起することとし

ました。

また、総会終了後は、第1回幹事会の開催、講演の開催、新旧役員全員参加し反省会を実施することが意思統一されました。

# 宇宙ステーションとの交信模様を見学

神奈川シニア連合「JAXA 筑波宇宙センター」と五浦温泉宿泊」の視察研修は、10月15（16日の二日間産別退職者会役員や会員43名が参加し行われました。

15日は、横浜高島屋正面玄関前に8時10分に集合し観光バスに乗車。首都高速や常磐道を約2時間走り桜土浦ICで降り、ホテルグランド東雲で昼食休憩。13時00分にJAXAに到着し、



最初にロケットを背景に参加者全員の写真撮影。そして、視聴覚室でビデオによるJAXAの説明を受けた後、2班に分かれ宇宙ステーション「きぼう」運用管制室で宇宙飛行士と交信している部屋を見学。更に、宇宙服や宇宙食の展示品を見ながら、宇宙飛行士養成や宇宙での生活の苦労話を聞き、最後に展示館で宇宙ステーション船内実験室の実物大に触れ、半世紀以前の子供の頃の夢が実現したような満足感を味わいました。

また、五浦温泉では、観光ホテルのロビーで横山大観の日本面に感動し、絶景の露天風呂で美人の湯を浴び、翌日16日は、徳川斉昭が1841年開設した「弘道館」を見学。那珂湊で昼食した後は、ひたすら高速を走り横浜西口に15時45分到着。参加者は、多くを学び・楽しく・充実した視察研修を終え帰路につきましました。

## 2018年度自治体他への政策要請

神奈川シニア連合は、各産別退職者会から集約した「2018年度制度・政策要求と提言」や日本退職者連合が厚生労働省に要請した内容等に基づいた「介護保険制度の充実等に関する諸要請」と「低所得高齢単身女性問題に関する政策・制度要求」を連合神奈川の協力を得て神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、座間市、厚木市、立憲民主党神奈川県連合、国民民主党神奈川県連合支部連合会に12月末までに要請行動を行う予定です。

最初の要請先となった国民民主党神奈川県支部連合会では、10月22日（月）10時30分から石上俊雄代表、後藤祐一代表代行、雨笠裕治幹事長に対し、永井会長が要請書を手交するとともに、



池田事務局長から①介護保険制度における、要介護1・2の総合事業への移管は絶対反対。②2025年地域に向けた地域包括ケアシステムの構築は、国の計画から遅れており街づくりと一体で医療・介護・住宅・福祉の切れ目ないネットワークを促進すること。③介護保険費用の国負担分25%の調整のうち、調整交付金に充てている5%は国で財源を措置25%全額を保険者に交付することなどを強調し要請しました。